



第3回「みんなで災害支援ネットワーク」学習会

常総水害に学ぶ災害支援のあり方

講演

演題「常総災害からの復興と
自主防災の取り組み」

平成27年9月の常総水害で、自ら被災しながらも地域の災害・復興支援を続ける茨城NPOセンター・ commons とたすけあいセンター JUNTOS。災害支援の実際とその課題について。

ワークショップ

テーマ① 支援のかたち

あなたの団体の日頃の活動における資源を活かし、被災者にどんな支援ができるのか。実際に支援する時にどんなことが必要か。

テーマ② 繋がり

支援には団体同士の連携・協働が重要。常日頃そして緊急時の繋がりにはどのようなツール(メール、LINE、facebookなど)が良いのか。

日時

2021年 **11月16日(火)**
13:30~16:00

場所

四街道市文化センター
203号会議室

定員

40人

対象

「四街道みんなで災害支援
ネットワークの会」会員、
災害支援に関心のある方

※参加費無料

今年3月のオンラインシンポジウムで、語り手の関口笑子さんの「被災者も支援者になり得る」「日常の中に災害を克服するヒントがある」の至言。実際に災害に直面した時、私達の持っている経験や団体の持っている資源が、どのような支援の形に繋がるのかを学ぶ絶好の機会です。

お申込み・お問合せ：四街道市みんなで地域づくりセンター
電話 043-304-7065 FAX 043-422-7051
Email info@minnade.org

申し込み受付中

QRコードからも申し込み出来ます



講師 プロフィール

横田能洋(よこたよしひろ)さん

千葉県出身、茨城大学で社会学を学び障がい者関係のボランティアに参加。大学卒業後、茨城県経営者協会に就職し企業の社会貢献推進などを担当。

1998年、NPO法成立を受けて「茨城NPOセンター・コモンズ」を仲間と設立し、コモンズ事務局長に転職。コモンズ設立後は様々な市民活動の相談や研修を行う。2009年、地元の常総市に拠点を開き、リーマンショックで仕事を無くした日系ブラジル人の再就職支援や子の就学支援を始める。2015年、コモンズ代表就任後に鬼怒川洪水で拠点が被災し、地域の復興のため「たすけあいセンターJUNTOS」を立ち上げる。空き家を改修したえんがわハウスで多文化保育やコミュニティカフェを運営し、自主防災、多文化防災、多文化ソーシャルワークの推進に取り組んでいる。



「茨城NPOセンター・コモンズ」と「たすけあいセンターJUNTOS」の活動

対象	ひきこもりがちな市民	子ども	外国人	被災者	高齢者	障がい者
事業の柱	上記の市民を支える、地域社会の団体					
①セーフティネットのインキュベーション	グッジョブセンターみとなどによる就労支援	コモンズ・グローバルセンターによる多文化保育や学童保育、学習支援、キャリア支援の実施		たすけあいセンターJUNTOSによる居場所づくり、移動支援		一般社団法人グローバルセンター・コモンズによる就労支援のモデルづくり
②ネットワーク化	地域を構成する多様な組織の連携の機会づくり	子ども食堂や無料塾のネットワーク化支援	教育機関をつなぐ地域円卓会議の実施	災害時の特殊ニーズに対応するための福祉団体のネットワーク化	自治体NPOなどによる生活支援体制整備の支援	福祉避難所づくりを通じた障がい者支援団体のネットワーク化
③担い手の育成	ジョブトレーナーの育成	親の会やひきこもり支援に関わる団体の運営支援、子ども食堂や無料塾の運営支援	外国人による当事者組織や常総市国際交流協会の設立支援	防災訓練や常総の水害の経験を活かしたワークショップの実施	NPOなどへの会計支援	
④活動資源の仲介	いばらき未来基金による NPO などへの助成と伴走支援			JUNTOS募金やホープ募金(いばらき未来基金内の被災者支援活動のための基金)	遺贈寄付の推進	いばらき未来基金による NPOなどへの助成と伴走支援